

## 世界の文化創造拠点ARITAプロジェクトについて <全体概要>

### 10年後の目指す姿 『世界の文化創造拠点 ARITA』

世界中から感性豊かな人々がARITAに集い、陶磁器文化を核に交流と学びが広がっている。こうした交流を起点として、佐賀の陶磁器のブランド価値が高まるとともに、文化・食・アートなど多様な分野での交流が広がり、文化(次世代への継承・創出)・観光(交流の促進)・産業(収益の多層化)が好循環を生み出している。さらに、次世代の「文化創造拠点」として、ARITAを起点に佐賀県全体へ新たな交流と文化が生まれ、広がっている。

### 5年後の目指す姿 『文化交流拠点』

ARITA全体が陶磁器文化を体感できる「生きたミュージアム」として機能し、陶磁器文化のブランド力と文化的価値が高まり、陶磁器産業の持続的発展を後押しするとともに、その効果が周辺地域へ広がりはじめている。

<事業目的> 佐賀県の陶磁器産業において後継者不足、原材料高騰といった市場縮小が進行している状況をふまえ、「文化観光」というアプローチを通じ、世界の人々との交流を作り、陶磁器文化の魅力・価値を体験的に発信・訴求できる場を創出する。

<課題> 世界に誇る文化資源の価値や魅力がわかりやすく整理・編集され、十分に発信されていない  
①文化体験の不足 ②宿泊施設・移動手段の未整備 ③ガイド・コンシェルジュの不足 ④プロモーションが不十分

### <取組概要(5か年)>

事業期間:R7~11年度 エリア:有田町・伊万里市・唐津市・嬉野市・武雄市 誘客ターゲット:主に欧米を中心とした文化関心層

#### ① 自走化に向けた体制構築 Momentum Makers of ARITA

✓地域Co.を中心としたプロジェクト推進 ✓好循環モデルの構築 ✓自走化のしくみ・体制づくり

#### ② ARITAの磨き上げ~物語を感じるまちづくり・生きたミュージアム~ The Living Museum ARITA Project

✓文化資源の価値を掘り起こし可視化させ、ストーリーとして編集・アーカイブ化し発信

✓九陶を文化観光ハブ拠点として体験・宿泊・移動・ガイドを一体的に整備し、世界との交流を生む深い文化体験と滞在価値を高める

#### ③ ARITAを起点とした周遊促進・世界への発信 Beyond ARITA Project

✓周辺地域での「文化体験」を整備し、有田を起点とした周遊ルートを造成

✓ブランドサイト制作やメディア・旅行社のFAM等により、世界の文化関心層の誘客を促進